



14th MIYAGI International Triathlon SENDAI SHICHIGAHAMA

2008 ITU トライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
NTT トライアスロンジャパンカップ第6戦
大会レポート

2008 ITU Triathlon Continental Cup SENDAI SHICHIGAHAMA
2008 NTT Triathlon Japan Cup, 6th Stage

2008.07.06

JAPAN TRIATHLON UNION.
www.jtu.or.jp



大会概要・会場風景

第14回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会 / 2008ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会

JAPAN TRIATHLON UNION
www.jtu.or.jp

大会概要

■大会名称および大会指定

第14回 みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会
2008ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会
NTTトライアスロンジャパンカップランキングイベント第6戦
東北学生トライアスロン選手権大会
宮城県トライアスロン選手権 (強化指定選手選考大会)
宮城県民体育大会

■開催日

2008年7月6日(日)

■開催場所

宮城県宮城郡、七ヶ浜町
主会場:七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺

■主催

七ヶ浜町、社団法人 日本トライアスロン連合(JTU)

■主管

宮城県トライアスロン協会
第14回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会実行委員会

■特別後援

日刊スポーツ新聞社

■協賛

NTT東日本 日本サムスン キョーリン 日本航空 アリーナ アシックス
大塚製薬 エクトス サブウェイ フィエラ AIU保険会社 CoCo一番屋
東山 日本バナナ輸入組合 カナディアンクリスタ 宮城トヨタ 新日本石
油精製 山源工務店 東北造園 JR東日本仙台支社

■競技内容

51.5Km
スイム1.5Km、バイク40Km、ラン10Km

エリート:ドラフティング許可
エイジ(一般選手、学生選手):ドラフティング禁止
リレー(2~3名で競技をする):ドラフティング禁止

■制限時間

エリート男子:2時間30分、エリート女子:2時間45分

■参加資格

①JTU 指定選手 ②各県協会の推薦選手 ③主催者推薦選手



大会 スケジュール

7月5日(土)

- 12:30~15:50 選手登録受付
16:00~16:30 競技説明会
12:30~17:00 メディア登録受付
17:00~17:45 メディア説明会・記者会見

7月6日(日)

【エイジ部門】

- 06:30~07:45 選手受付(ボディーナンバー書き込み)
08:00 スタートエリア集合
08:15 スイムスタート
12:15 全競技終了

【エリート部門】

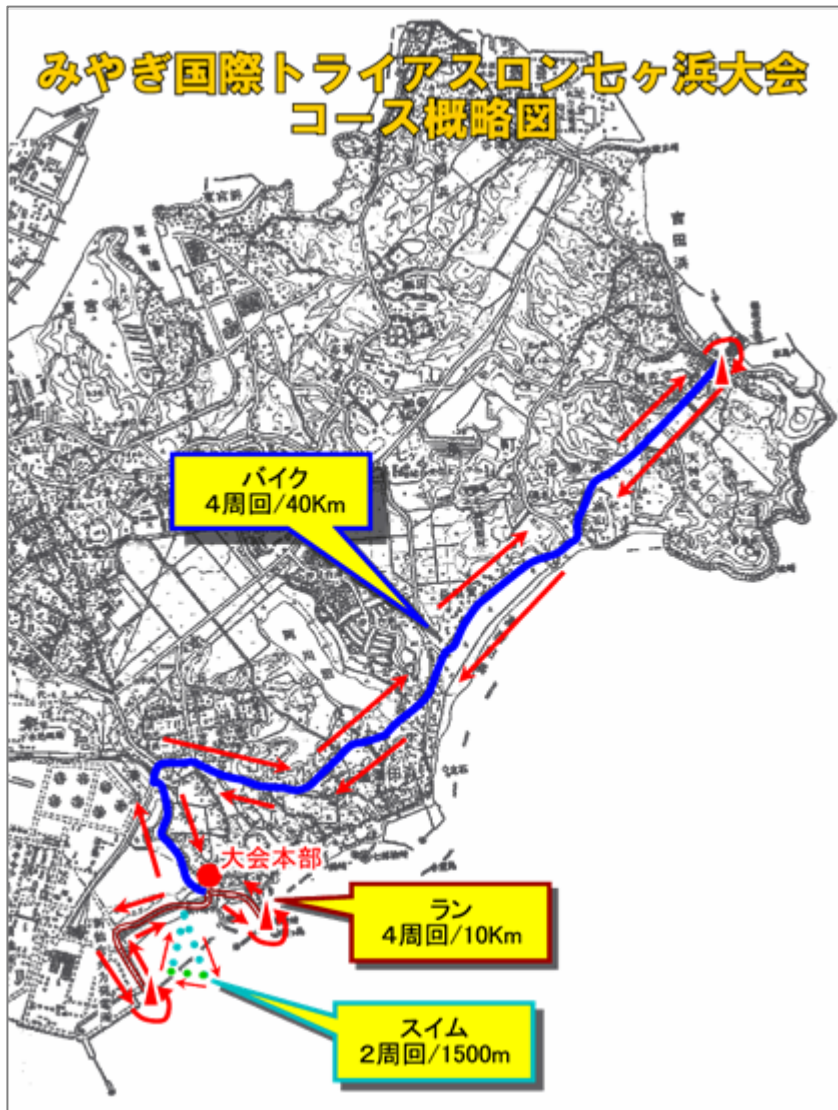
- 09:50~10:30 選手受付(エリート男子)
09:50~11:40 選手受付(エリート女子)
10:45 エリート男子集合(スタートエリア)
11:00~13:30 エリート男子競技
11:55 エリート女子集合(スタートエリア)
12:10~14:55 エリート女子競技
14:30~15:00 表彰式・閉会式



コースマップ



みやぎ国際トライアスロンセヶ浜大会 コース概略図



■コース概略図

競技距離	スイム	750m × 2周回: 1500m
	バイク	10Km × 4周回: 40Km
	ラン	2.5Km × 4周回: 10Km



■ランコース詳細



会場風景

スイムエリア



■ スイムスタートエリア(七ヶ浜町湊浜)



■ スイムゲート付近



■ スイム周回コーナー



■ 七ヶ浜町湊浜の海(エイジグループスタート前入水チェックの様子)

会場風景

トランジションエリア
バイクコース



■ スイムエリアからトランジションエリアへ



■ トランジションエリア



■ バイクコース(メイン会場折り返し地点)



■ トランジションエリアからバイクコースへ

会場風景

フィニッシュエリア付近



■ フィニッシュエリア



■ フィニッシュゲート(コース側)



■ フィニッシュゲート(メディア側)



■ フィニッシュゲート

会場風景

スポンサーアドバナー



■ アドバナー(NTT東日本)



■ アドバナー(日本サムスン)



■ アドバナー(キョーリン)



■ アドバナー(JAL)

会場風景

スポンサーアドバナー



■ アドバナー(アリーナ)



■ アドバナー(アシックス)



■ アドバナー(大塚製薬Amino-Value)



■ アドバナー(サブウェイ)

会場風景

スポンサーアドバナー



■ アドバナー(日本バナナ輸入組合)



■ アドバナー(カナディアンクリスタ)



■ アドバナー(スイムエリア)



■ アドバナー(フィニッシュエリア前)

会場風景

スポンサーアドボード



■ アドボード(NTT東日本)



■ アドボード(日本サムスン)



■ アドボード(キョーリン)



■ アドボード(アシックス)

会場風景

スポンサーアドボード



■ アドボード(大塚製薬Amino-Value)



■ アドボード(サブウェイ)



■ アドボード(フィエラ)



■ アドボード(フィニッシュゲート前)

会場風景

スポンサーアドボード



■ アドボード(NTT東日本)



■ アドボード(日本サムスン)



■ アドボード(キョーリン)



■ アドボード(JAL)

会場風景

スポンサーアドボード



■ アドボード(アリーナ)



■ アドボード(アシックス)



■ アドボード(大塚製薬Amino-Value)



■ アドボード(エクトス)

会場風景

スポンサーアドボード



■ アドボード(サブウェイ)



■ アドボード(フィエラ)



■ 大会タイトル看板



会場風景

スポンサーのぼり



■のぼり(NTT東日本)



■のぼり(日本サムスン)



■のぼり(エクトス)



■のぼり(フィエラ)

会場風景

スポンサーのぼり



■のぼり(サブウェイ)



■のぼり(カナディアンクリスタ)



■のぼり(スイム会場)



■のぼり(フィニッシュゲート前)

会場風景

表彰式会場 他



■ 表彰式会場



■ JTA、ITU、ジャパンカップシリーズ旗



■ ゴミの分別の協力を呼びかけました



■ 資源ゴミの分別

会場風景

エイドステーション



■JTUオフィシャルドリンク・大塚製薬(Amino-Value)



■JTUオフィシャルパートナー・カナディアンクリスタ(ミネラルウォーター提供)



■JTUオフィシャルパートナー・バナナ輸入組合(バナナ提供)



■Amino-Value & カナディアンクリスタ



大会模様

第14回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会 / 2008ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会

JAPAN TRIATHLON UNION
www.jtu.or.jp

7月5日(土)

17:00~17:45
メディア説明会・
記者会見



■記者会見会場



■4名の有力選手が出席し、記者会見が行われた



■高濱邦晃(チームコラテック/左)とジェームス・シーア(オーストラリア)



■サラ・クロウリー(オーストラリア/左)と大松沙央里(トヨタ車体/右)

7月5日(土)

17:00~17:45
メディア説明会・
記者会見



■明日のレースの健闘を誓う4選手

7月5日(土)

JTUニュースリリース
大会直前情報

http://www.jtu.or.jp/news/2008/pdf/08ShichigahamaPreRelease2.pdf

2008 JTU NEWS RELEASE 2008年7月5日

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦セツ浜大会直前情報
一昨年優勝の大松が勝利へ自信

2008 JTU NEWS RELEASE 2008年7月5日

韓国から9名、オーストラリアから9名を含み、エリート男女42名が参加

7月5日(土)、宮城県七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺の特設コースで6日(日)に開催される2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦・2008TTUトライアスロンコンチネンタルカップセツ浜大会を前に、セツ浜町中央公民館で有力選手が出席する記者会見が行われた。

出席したのは、サラ・クロウリー(オーストラリア)とジェームス・シア(オーストラリア)に大松沙央里(トヨタ車体)、高濱邦晃(チームコラテック)の4名。司会は宮本光広JTU事業広報副委員長。

選手の紹介があった後、各選手から大会への意気込みと抱負が語られた。

その後、記者から4選手に向けて、多くの質問があった。

質問のなかには、「オーストラリアチームは、同じ7月8日を走っているが、その意味は何か」というものもあり、それに対してオース

トラリアからの両選手は、「ヤング・ガン」という、オーストラリア・トライアスロン協会が主宰する若手選手開発プロジェクトについて説明があった。そのプロジェクトは、今年は10名の選手が入っていて、今回はそのうちの9名が日本に遠征に来ている。

オーストラリアチームは、このレースと次週のシンガポールでのレースに参加して、帰国する予定。

また、前週の幕張大会前から日本で合宿を続けている韓国チーム9名もこのレースに参加。女子のキム・セジョは幕張大会で4位。男子のヘオ・ミンホも同大会で3位に入るなど、侮れない実力を見せている。

韓国チームは、この大会後、日本で3レースを継続した後に帰国の予定。

さらにこの大会には、女子で、中島千恵(トシバパートナーズ・チームケンズ)、蔵本菜(東京ベルディ)、菊池日出子(チームプレイブ)らの若手有力選手が参加する。

男子では、昨年の日本選手権3位の杉本宏樹(チームプレイブ)と本大会での優勝経験のある平野司(NTT東日本・NTT西日本)、昨年の村上大会を制した大塚太一らが参加。男女とも熱戦が期待できる。

明日のスタートは、第14回みやぎ国際トライアスロン仙台ベイセツ浜大会が午前8時15分、エリート男子が午前11時、エリート女子が午後12時10分となっている。

明日のレースの優勝を誓う4選手

記者会見に出席の4選手。右から大松、クロウリー、シア、高濱の各選手。司会は、宮本JTU事業広報副委員長

大松 沙央里
トヨタ車体

サラ・クロウリー
オーストラリア

高濱 邦晃
チームコラテック

ジェームス・シア
オーストラリア

この大会は、何度も参加しているが、そのなかでもレベルの高い選手が集まった大会となった。優勝できるような確信はない。明日は着くだろうが、自分は着たい。特別な暑さ対策はないが、得意であるという気持ちを生かしてレースができればいい。

日本のレースははじめての経験。明日のレースは、タフなコースと暑い気候で難しいものとなるだろう。強い日本選手や韓国の選手も参加するので、いいレースがしたい。暑さに耐えては、好きなので、水を取りながらレースをしたい。6月の世界選手権の気度が12度だったので、暖かくいい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

NTT東日本 NTT西日本

SAMSUNG

Kyarin JAL asics TAIHEI reserTina fiera

Gakken B.I.G. SHIMANO YAMAHA Canada Cyma

社団法人日本トライアスロン連合 〒158-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-10 青山キングビル
TEL 03-5469-5401(代) FAX 03-5469-5403 Email jtuoffice@jtu.or.jp URL http://www.jtu.or.jp/ P.1/P.2

7月6日(日)

~8:00

エイジ部門

スタート前風景



■ トランジションエリアでセッティングする選手



■ 入水チェック



■ セヶ浜町湊浜からのスタートとなる



■ 続々とスタートエリアへ移動

7月6日(日)

8:00

エイジ部門

スタートエリア集合



■8時、七ヶ浜町湊浜に エイジ部門124名、東北選手権67名、駅伝15チームの200名以上の選手が集結

7月6日(日)

8:00
エイジ部門
スタートエリア集合



■ スタートセレモニーでは地元の学生の応援が会場に花を添えた



■ 海の安全を守るスタッフ



■ スタートセレモニー風景



■ スタートの合図を待つ選手

7月6日(日)

8:15

エイジ部門
スタート

競技距離:合計51.5km
スイム1.5km(2周回)
バイク40km(4周回)
ラン10km(4周回)



■ 8時15分。約200名の選手がいっせいにスタート。スタートは七ヶ浜町湊浜。七ヶ浜の入口に位置する。
七ヶ浜町は、湊浜・松ヶ浜・菖蒲田浜・花渕浜・吉田浜・代ヶ崎浜・東宮浜、の7つの浜を持つ村々で作られ、北・東・南の三方を海に囲まれた半島の町である。

7月6日(日)

エイジ部門
スイム競技風景



■スイム2周回目



■ジュニア強化指定の椿浩平選手がスイムをトップで終え、バイクへ

7月6日(日)

エイジ部門
バイク競技風景



■ スイムを終えた選手達が次々とトランジションエリアへ



■ トランジションでスイムからバイク競技へ移行する



■ バイクでは、大会本部から海沿いの道路を計40km走る



■ 大会本部前にある折り返し地点

7月6日(日)

エイジ部門
ラン競技風景



■バイクを終えトランジションへ入る東北大学の小室選手(スプリット1位通過)



■ラン序盤、福元選手が小室選手を抜く



■福元選手が石垣、天草に続き、本年度3回目の優勝を飾った



■エイジ部門優勝福元選手(中央)、2位権選手(左)、学生選手権1位の相楽選手

7月6日(日)

11:00 エリート男子 スタート

競技距離はオリンピック・ディスタ
ンスの51.5km(スイム1.5km/
バイク40km/ラン10km)。宮
城県七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺
の特設コースを走る。



1 午前11時 エリート男子28名がスタートした(オーストラリア8名、韓国4名、香港1名、日本選手15名が出場)

7月6日(日)

11:00

エリート男子競技風景
スイム



2 エイジグループ同様、スイムでは湊浜の海を2周回計1.5km泳ぐ



3 スイム1周回目トップはオーストラリアのジョシュア・アムバーガー



4 平野(NTT東日本・NTT西日本)がアムバーガーを追う



5 スイム2周目目に入る杉本(チームプレイブ)

7月6日(日)

11:00

エリート男子競技風景
スイム



6 スイム2週回を終え、トランジションエリアへ向かう平野とアムバーガー



7 その15秒後、オーストラリア勢中心にスイムを終える



8 トップから約40秒遅れ、杉本がトランジションエリアへ(現時点7位)



9 海岸をあがったところに位置するトランジションエリア



7月6日(日)

11:00

エリート男子競技風景
バイク



10 アムバーガー、シーア、メイダラーのオーストラリア勢とヘオ・ミンホ(韓国)の4名が第1集団を形成。スイム2位の平野は遅れをとり後ろへ下がった

7月6日(日)

11:00

エリート男子競技風景
バイク



11 第2集団には、高濱邦晃(チームコラテック)、杉本宏樹(チームブレイブ)、岩井信二(日本食研)にオーストラリアからの2名らを含む7名が入った

7月6日(日)

11:00
エリート男子競技風景
バイク



12 バイク第3集団の先頭をひく外山高広(東京ヴェルディ/左)



13 バイク第1集団の5名は順調に後続との差を開いた



14 先頭集団を追う杉本、高濱、岩井ほか



15 後続に1分の差をつけ、先頭の4名がそのままランへ



7月6日(日)

11:00
エリート男子競技風景
ラン→バイク



16 1分遅れ、第2集団の7名がトランジションに入った



17 高濱邦晃はバイク終了時点9位。トップとの差は1分19秒



18 スイムはトップと1秒差であがった平野だsが、バイク終了時点は13位に



19 そのままトップで走るシーア、メイダー、アムバーガー、ミンホの4名

7月6日(日)

11:00

エリート男子競技風景
ラン



20 ラン序盤、高濱が快調に追い上げ、トップと30秒差にまで詰め寄った



21 高濱の後に続く杉本。後ろはオーストラリアのマクヒュー



22 高濱、杉本ともにバイク第2集団をはった岩井信二(日本食研)

7月6日(日)

11:00
エリート男子競技風景
ラン→バイク



23 韓国のミンホが遅れをとり、オーストラリアの3名が先頭にたった



25 外山(東京ヴェルディ/左と平野(右)



24 バイク終了時16位の細田(チームブレイブ)がランで徐々に順位をあげる



26 シーアがスパートをし、単独トップにたった



7月6日(日)

11:00
エリート男子競技風景
ラン→バイク



27 シーアがそのままトップを守り、1時間53分48秒で優勝



28 2位はメイダー、3位はアムバーガー。オーストラリア勢が上位を独占した



29 一時は30秒差に詰めた高濱だったが中盤で差が開き、惜しくも4位に

7月6日(日)

12:10

エリート女子 スタート

競技距離は男子と同じく、オリンピック・ディスタンスの51.5km（スイム1.5km／バイク40km／ラン10km）。宮城県七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺の特設コースを走る。

男子から1時間10分後に女子の競技がはじまった。



1 12時10分 男子スタートから1時間10分後、エリート女子13名がスタートした(オーストラリア1名、韓国2名、日本選手8名が出場、※DNS韓国2名)

7月6日(日)

12:10
エリート女子競技風景
スイム



2 いっせいに海へかけだす



3 中島千恵(トーンパートナーズ・チームケッズ)がスイムをトップフィニッシュ



4 続くのはスン・エンキュン(写真)、キム・ヒジョーの韓国勢



5 すぐ後ろには西麻依子(湘南ベルマーレ)がつけた



7月6日(日)

12:10

エリート女子競技風景
バイク



6 バイクでは、西麻依子と中島千恵、韓国のエンキュンとヒジョーの4名が第1集団に

7月6日(日)

12:10

エリート女子競技風景
バイク



7 セヶ浜2勝目を狙う大松沙央里(トヨタ車体・写真中央)と菊池日出子(チームプレイブ)、蔵本葵(東京ヴェルディ)の3名が第2集団となった

7月6日(日)

12:10
エリート女子競技風景
バイク



8 第1集団で先頭を引く西麻依子



9 第2集団では大松が積極的に攻め、トップとの差を徐々に縮めていった



10 スイムで出遅れ、バイクを単独で走るサラ・クロウリー(オーストラリア)



11 バイク終盤、第2集団が第1集団を吸収。7名がトランジションエリアへ入った



7月6日(日)

12:10
エリート女子競技風景
バイク→ラン



12 バイクを降りる 菊池(左)と中島(右)

13 西(湘南ベルマーレ)



7月6日(日)

12:10
エリート女子競技風景
ラン



14 ランに入ると、大松が満を持して飛び出した



15 大松の後を追う菊池



16 バイク終了時8位のクロウリー。後方からどんどん抜き去り、順位をあげる

7月6日(日)

12:10
エリート女子競技風景
ラン



17 ランにかけたサラ・クロウリー(オーストラリア)がただ一人37分台のラップをたたき出し、大松を抜き去って2時間10分12秒のタイムで優勝した



18 2位 大松沙央里(2時間13分4秒)



19 3位 菊池日出子(2時間14分18秒)



7月6日(日)

14:30~15:00

表彰式



エリート男子

- 1位 ジェームス・シーア(オーストラリア) / 1:53:48
- 2位 ジョシュア・メイダー(オーストラリア) / 1:54:29
- 3位 ジョシュア・アムバーガー(オーストラリア) / 1:54:32

エリート女子

- 1位 サラ・クロウリー(オーストラリア) / 2:10:12
- 2位 大松 沙央里(トヨタ車体) / 2:13:04
- 3位 菊池 日出子(チームプレイブ) / 2:14:18

大会結果



http://www.jtu.or.jp/news/2008/pdf/08shichigahama-result.pdf

http://www.jtu.or.jp/news/2008/pdf/08shichigahama-result.pdf

JTU Web Magazine

2008 ITU Continental Cup Triathlon, Shichigahama
2008 ITU コンチネンタルカップセツ浜大会
2008 NTT Triathlon Japan Cup, 6th Stage
NTTTライアスロンジャパンカップ第6戦
6th July 2008

公式記録

開催地: 宮城県七ヶ浜町周辺特設コース 開催日: 2008年7月6日 スタート: 男子 11:00 女子 12:10

コースデータ

スイム: 1.5km (2周回)	バイク: 40km (4周回)	ラン: 10km (4周回)
水温: 21.5°C (午前)	気温: 26.0°C	天候: 晴 風速: 5m/sec 南東

競技役員

JTU 技術代表: 千葉 信義 (宮城) 審判長: 男子・高橋 悟 (福島) 女子・鈴木 美登 (福島)
審判委員会: 中山 正夫 (埼玉)、片桐 謙一 (宮城)、千葉 信義 (宮城)

エリート女子 (5/42:26:37)

順位	No.	氏名	所属/登録	新	総合記録	スイム	順位	バイク	順位	スプリント	順位	ラン	順位	タイム差
1	12	サラ・クローリー	オーストラリア		2:10:12	0:24:28	55	1:07:52	1	1:32:20	8	0:37:52	1	
2	1	大船 沙由美	日本選手		2:13:04	0:22:44	8	1:08:41	2	1:31:26	4	0:41:39	3	0:02:52
3	9	長尾 日出子	オーストラリア		2:14:18	0:22:38	6	1:08:43	3	1:31:21	1	0:42:57	5	0:04:00
4	7	藤本 美	オーストラリア		2:14:22	0:22:37	5	1:08:49	4	1:31:26	5	0:42:56	4	0:04:10
5	6	内 藤法子	オーストラリア		2:15:03	0:21:43	4	1:09:44	6	1:31:27	6	0:43:36	6	0:04:51
6	3	キム・セジー	韓国		2:15:53	0:21:43	3	1:09:47	5	1:31:24	3	0:44:29	7	0:05:41
7	11	スティーブ・ジョンソン	韓国		2:17:19	0:21:20	2	1:09:55	7	1:31:27	7	0:45:52	8	0:07:01
8	2	中島 千恵	オーストラリア		2:20:03	0:21:28	1	1:09:55	7	1:31:27	2	0:48:45	9	0:09:51
9	4	藤澤 愛実	日本選手		2:20:51	0:24:52	11	1:15:30	9	1:40:22	9	0:40:29	2	0:15:39
DNF	5	ワグ・スティーブン	韓国			0:22:42	7							
DNF	13	藤 聖彰	韓国選手			0:22:43	8							
DNS	8	ジョン・ハブソン	韓国											
DNS	10	ジョー・セーヴィム	韓国											

技術代表署名: _____ 日時: 2008年7月6日 時 分
審判長 署名: _____ 日時: 2008年7月6日 時 分
技術代表または審判長の横断により「公式記録」となります。そのため上記欄に署名がないものは公式ではありません。

2008 ITU Continental Cup Triathlon, Shichigahama
2008 ITU コンチネンタルカップセツ浜大会
2008 NTT Triathlon Japan Cup, 6th Stage
NTTTライアスロンジャパンカップ第6戦
6th July 2008

エリート男子 (5/41:59:28)

順位	No.	氏名	所属/登録	新	総合記録	スイム	順位	バイク	順位	スプリント	順位	ラン	順位	タイム差
1	5	ジョー・スティーブ	オーストラリア		1:53:48	0:19:33	8	0:59:19	1	1:18:52	1	0:34:56	2	
2	10	ジョン・アムバーダー	オーストラリア		1:54:29	0:19:31	3	0:59:21	2	1:18:52	2	0:35:37	5	0:00:43
3	6	ジョン・アムバーダー	オーストラリア		1:54:32	0:19:15	1	0:59:28	4	1:18:53	3	0:35:29	6	0:00:44
4	4	高橋 邦康	オーストラリア		1:54:55	0:19:58	10	1:00:13	8	1:20:11	3	0:34:44	1	0:01:07
5	3	村本 圭樹	オーストラリア		1:55:09	0:19:54	7	1:00:09	7	1:20:03	4	0:35:04	3	0:01:21
6	2	ヘド・エンホ	韓国		1:56:12	0:19:32	4	0:59:21	3	1:18:53	4	0:37:19	12	0:02:24
7	9	ジョン・アムバーダー	オーストラリア		1:56:43	0:20:00	15	1:00:02	5	1:20:02	5	0:36:41	9	0:02:59
8	8	マシュー・ヘンソン	オーストラリア		1:56:49	0:19:26	6	1:00:27	11	1:20:03	7	0:36:46	10	0:03:03
9	11	野井 二	日本選手		1:57:44	0:19:59	12	1:00:06	6	1:20:05	8	0:37:35	14	0:03:56
10	29	藤田 貴博	オーストラリア		1:58:00	0:21:16	20	1:01:11	14	1:22:27	16	0:35:32	4	0:04:12
11	12	中松 孝隆	日本選手		1:58:21	0:19:59	11	1:02:30	22	1:22:29	17	0:35:52	7	0:04:33
12	4	キム・ジョン・グッド	オーストラリア		1:59:00	0:20:35	18	1:01:54	22	1:22:29	18	0:36:31	8	0:05:12
13	16	の野 真行	韓国選手		1:59:23	0:20:00	14	1:00:20	10	1:20:20	11	0:39:03	17	0:06:35
14	25	クリス・ローレンツス	オーストラリア		2:00:08	0:20:59	17	1:01:28	20	1:22:27	15	0:37:38	13	0:06:17
15	2	アラン・ジョンソン	韓国		2:00:25	0:19:57	9	1:00:15	9	1:20:12	10	0:40:13	20	0:06:37
16	20	山本 直也	韓国選手		2:01:04	0:21:18	23	1:01:09	13	1:22:27	14	0:38:37	15	0:07:16
17	19	岸 一輝	韓国選手		2:01:09	0:21:14	18	1:01:17	15	1:22:31	19	0:38:38	16	0:07:21
18	26	ライオン	韓国		2:02:41	0:21:19	19	1:01:21	16	1:22:36	22	0:40:05	18	0:08:53
19	7	野 祥	オーストラリア		2:03:08	0:19:16	2	1:01:21	16	1:25:37	13	0:42:31	23	0:09:23
20	14	藤田 貴博	オーストラリア		2:03:35	0:20:58	16	1:01:54	21	1:22:32	20	0:41:03	22	0:09:45
21	17	長村 康次	日本選手		2:05:48	0:21:17	21	1:01:17	16	1:22:34	21	0:43:14	24	0:12:00
22	18	長村 康	日本選手		2:06:39	0:22:04	25	1:04:56	24	1:27:00	24	0:39:35	18	0:12:51
23	15	高橋 圭一	オーストラリア		2:07:51	0:21:17	22	1:01:20	17	1:22:37	23	0:45:14	26	0:14:03
24	28	セオ・スワンソン	韓国		2:11:02	0:23:04	27	1:09:09	25	1:34:09	25	0:36:53	11	0:17:14
25	22	西嶋 昌彦	韓国選手		2:14:34	0:22:04	24	1:12:04	27	1:34:09	25	0:40:29	21	0:20:49
DQ	27	三沢 雄輝	オーストラリア		2:03:50	0:22:51	26	1:11:30	26	1:34:16	27	0:29:34		0:19:02
DNF	5	アダム・カールトン	オーストラリア			0:19:56	8	1:00:27	10	1:20:23	12			
DNS	23	リー・ベンソン	韓国											

技術代表署名: _____ 日時: 2008年7月6日 時 分
審判長 署名: _____ 日時: 2008年7月6日 時 分
技術代表または審判長の横断により「公式記録」となります。そのため上記欄に署名がないものは公式ではありません。



5月25日(日)

JTUニュースリリース
大会速報

http://www.jtu.or.jp/news/2008/pdf/08ShichigahamaAfterRelease2.pdf

http://www.jtu.or.jp/news/2008/pdf/08ShichigahamaAfterRelease2.pdf

JTU Web Magazine

2008 JTU NEWS RELEASE 2008年7月6日

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦七ヶ浜大会速報
女子で大松沙央里(トヨタ車体)が2位

優勝は男女ともオーストラリア。女子サラ・クロウリー、男子ジェームス・シーア

7月6日(日)、宮城県七ヶ浜町湊浜海浜公園周辺の特設コースで、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦・2008JTUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会が開催された。

この大会には、オーストラリアからの有力選手9名と、韓国から日本での合宿とレース参加を目的に来日している9名が参加した。競技距離はオリンピック・ディスタンスの51.5km(スイム1.5km/バイク40km/ラン10km)。

午前11時スタートの男子エリートは、スイムでジョシュア・アムバーガー(オーストラリア)がトップに出ると、この大会で優勝経験のある平野司(NTT東日本・NTT西日本)がすぐ後ろについた。

バイクでは、アムバーガー、ジェームス・シーア、ジョシュア・メイダーのオーストラリア勢とヘオ・ミンホ(韓国)の4名が第1集団を形成。順調に後ろとの差を開く。

スイムでトップを競り合う松本(左)と高濱(右)の第2集団/女子のトップ集団は4名

前を走る松本(左)と高濱(その右)の第2集団/女子のトップ集団は4名

ジェームス・シーア
オーストラリア

非常にタフなコースだったが、あまり気温が上がらなかったのが幸いした。バイクとランの序盤でオーストラリアチームの仲間と走れたのがいい結果を生んだ。はじめての日本に来て、いい結果が出せてうれしい。時のマキシンはケガをしているが、この勝利は家族にとって励みだ。

高濱 邦晃
チームコラテック

バイクでは結果ほど悪くはないローテーションと走りができたと思ったが、第1集団が速かった。ランの1周目でトップに30秒まで追いついたが、心拍数が上がりすぎて少しペースを落とした。それでもまだ差が開いてしまった。日本での大会なので、何としても勝ちたかった。

JTU Official Sponsors & Official Partners

NTT東日本 NTT西日本 SAMSUNG Kyorin JAL asics TAIHEI reserTrust fieria Gokken BIG DENSO sumitomo JEXIA Conker Cops

社団法人日本トライアスロン連合 〒158-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-10青山キングビル
TEL 03-5469-5401(代) FAX 03-5469-5403 Email jtuoffice@jtu.or.jp URL http://www.jtu.or.jp/ P.1/P.2

2008 JTU NEWS RELEASE 2008年7月6日

第2集団には、高濱邦晃(チームコラテック)、杉本宏樹(チームプレイブ)、岩井信二(日本食研)にオーストラリアからの2名らを含む7名が入った。

ランに入ると、シーア、メイダー、アムバーガーの3名がミンホを置いて先頭に出た。それを追う日本選手は高濱だが、ラン序盤で30秒差まで詰めながら、中盤で差が開き、結局、1時間53分48秒でシーアが優勝した。2位は、メイダー、3位はアムバーガー。高濱は、惜しくとどかず、4位となった。

午後12時10分スタートのエリート女子は、中島千恵(トシバパートナーズ・チームケンズ)がスイムをトップフィニッシュ。続くのは、スズ・エンキョウ、キム・ヒジョーの韓国勢。すぐ後ろには西森依子(湘南ベルマーレ)がつけた。

バイクでは、西と中島、エンキョウとヒジョーが第1集団となり、七ヶ浜2勝目を誇る大松沙央里(トヨタ車体)と菊池日出子(チームプレイブ)、藤本奏(東京ヴェルディ)が第2集団となったが、バイク最終周でこれら二つの集団は7名の第1集団となった。

ランでは、大松が高を持して飛び出し、菊池が後を追う。しかし、スイムで出遅れ、バイクを単独で走破し、ランにかけたサラ・クロウリー(オーストラリア)がただ一人37分台のラップをたたき出し、大松を抜き去って2時間10分12秒のタイムで優勝した。

2位には、ランで抜かれた大松が入り、3位は菊池が入った。

このレースの様子は「web JTU Magazine」フォトギャラリーでご覧いただけます。

(上)トップを行くオーストラリア勢の3名とミンホ、先頭は優勝のシーア
(下)前を走る松本(左)と高濱

サラ・クロウリー
オーストラリア

スイムでかなり遅れてしまい、バイクでは単独で追い上げることに。しかし、記者会見で話したとおり、バイクとランのコンビネーションで前を走った。ランの1周目でトップとの距離が分かったときにいけると思った。気温が暑くならなかったのが、私にとってなにより良かった。

大松 沙央里
トヨタ車体

七ヶ浜での2勝目を自分も期待していたので嬉しい。ランに入るころまでは、自分の作戦がうまく決まっていた。このコースを攻略していくと思っていた。嬉しいのは、バイクの序盤で前の集団に追いついて、後ろとの差を広げたかったこと。クロウリー選手の走りも驚異的だった。

JTU Official Sponsors & Official Partners

NTT東日本 NTT西日本 SAMSUNG Kyorin JAL asics TAIHEI reserTrust fieria Gokken BIG DENSO sumitomo JEXIA Conker Cops

社団法人日本トライアスロン連合 〒158-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-10青山キングビル
TEL 03-5469-5401(代) FAX 03-5469-5403 Email jtuoffice@jtu.or.jp URL http://www.jtu.or.jp/ P.2/P.2



告知・広報 / 各種ツール 他

第14回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会 / 2008ITUTライアスロンインターナショナルカップ七ヶ浜大会

JAPAN TRIATHLON UNION
www.jtu.or.jp

リリース

JTUメールニュース配信



JTUメールニュース#225 (七ヶ浜大会案内) .txt
 発行人: JTUメールニュース [C] © 015@nifty.com
 送信日時: 2008年6月30日 月曜日 15:28
 宛先: "Undisclosed-Recipient" <nifty.com>
 件名: JTUメールニュース#225 (七ヶ浜大会案内)

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回七ヶ浜大会 (7/6開催) 取材案内

7月6日 (日)、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回/2008NTTトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会が、宮城県・七ヶ浜町漁港漁民漁業団体の特別コースで開催されます。本大会ではNTTジャパンカップランキングのポイントが付与されます。

<1>日程
 第14回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会 (一艇) ・8:15
 エリート男子 / 11:00
 エリート女子 / 12:10
 競艇式 / 14:30

<2>男子エリート
 この大会で予定された経路を先ず高瀬川 (チームコラチャク) と2004年の本大会の巻巻、平野司 (NTT東日本・NTT西日本)、昨年日本選手権4位の杉本寛樹 (チームプレイブ)、前週の最速で4位に入った平松雅也 (日本食料) がエントリーしています。

<3>女子エリート
 過去NTTジャパンカップランキング1位の中西千恵 (トーンパートナーズ・チームケンズ) と同3位の古坂あゆみ (トヨタ車社)、現チームの大塚沙央美 (トヨタ車社) と今年の日本選手権3位の22歳と11歳となった菊田日出子 (チームプレイブ) がエントリーしています。

<4>海外選手
 また海外から、今年のアジア選手権ジュニアの覇で優勝した女子のキム・ヒョウ (韓国)、男子のヘオ・ミンホ (韓国) 6種運動の名手。さらに、トライアスロンが得意なオーストラリアから選手男女10名が来日。エリート男女合わせて44名 (6月30日現在) がエントリーしています。

<5>大会特徴
 本大会は、NTTトライアスロンジャパンカップのなかの東北地方で開催される唯一のレースで、競技距離はオリンピックスタンスである51.5km (スイム) 5km/バイク40km/ラン10km) で行われます。今年10月26日 (日) に東京・お台場で行われる第14回日本トライアスロン選手権への出場に向けて、多くの選手が集まります。

<6>取材
 この大会を取材するメディアの皆さまは、下記URLにアクセスして取材申請書を出してください。

■6月30日(月)配信「七ヶ浜大会取材案内」

JTUメールニュース#229 (七ヶ浜大会選手会見) .txt
 発行人: JTUメールニュース [C] © 015@nifty.com
 送信日時: 2008年7月5日 土曜日 19:05
 宛先: "Undisclosed-Recipient" <nifty.com>
 件名: JTUメールニュース#229 (七ヶ浜大会選手会見)

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回七ヶ浜大会前日情報

一昨年度優勝の大塚沙央美へインタビュー

韓国から9名、オーストラリアから9名を含み、エリート男女42名が参加

7月5日 (土)、宮城県七ヶ浜町漁港漁民漁業団体の特別コースで6日 (日) に開催される2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回、2008NTTトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会を前に、七ヶ浜町や中央出版で有力選手が出陣する記者会見が行われました。

出席したのは、サラ・クロウリー (オーストラリア) とジョームス・シーア (オーストラリア) に大塚沙央美 (トヨタ車社)、高瀬雅樹 (チームコラチャク) の4名。同会は宮城県JTU選手権広報委員長。

選手への紹介があった後、各選手から大会への参加の意気込みと意気込みが語られた。

その際、記者から4選手に対して、多くの質問があった。

最初の質問は、「オーストラリアチームは、同じシヤツを着ているが、その意味は何か、というものもあり、それに対してオーストラリアからの選手は、「ゲンダ・ガン」という、オーストラリア・トライアスロン協会が主催する選手選手権プロジュエトについて語った。そのプロジュエトは、今年は10名の選手が入っていて、今回はそのうちの9名が日本に遠征に来ている。

オーストラリアチームは、このレースと並行してシンガポールでのレースに参加して、確認する予定。また、前週の最高大塚沙央美から日本で合戦を続けている韓国チーム9名もこのレースに参加。女子のキム・ヒョウと大塚沙央美の4名。男子のヘオ・ミンホも現大会で3位に入ると、獲れない実力を示している。

韓国チームは、この大会後、日本でレースを続けた後に韓国に予定。また、日本代表 (東京ベルデ) が、菊田日出子 (チームプレイブ) の有力選手が参加する。

男子では、昨年の日本選手権3位の杉本寛樹 (チームプレイブ) と本大会での優勝経験のある平野司 (NTT東日本・NTT西日本)、昨年の村上天大会を制した大塚スーから参加。男女とも熱気が期待できる。

明日のスタートは、第14回みやぎ国際トライアスロン選手権七ヶ浜大会が午前8時15分、エリート男子が午前11時、エリート女子が午後12時10分となっている。

<選手コメント>
 ○大塚 沙央美 (トヨタ車社)
 七ヶ浜大会がジャパンカップになってからずっと出ている。いいレースも悪いレースも出てきたが、勝負は一番持っているもので、確認したい。スイムの今の今の感覚がポイント。バイクは楽から最大まで力を出していく。バイクで力を発揮して、ランで勝負がある。

○サラ・クロウリー (オーストラリア)
 日本の旅行もはじめてで、日本のレースもはじめて。新しく出た選手たちとレースするのを楽しみにしています。

■7月5日(土)配信「七ヶ浜大会選手会見」

JTUメールニュース#230 (七ヶ浜大会結果速報) .txt
 発行人: JTUメールニュース [C] © 015@nifty.com
 送信日時: 2008年7月6日 日曜日 16:12
 宛先: "Undisclosed-Recipient" <nifty.com>
 件名: JTUメールニュース#230 (七ヶ浜大会結果速報)

女子で大塚が優勝して2位に入る

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回、2008NTTコンチネンタルカップ七ヶ浜大会結果速報

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回、2008NTTコンチネンタルカップ七ヶ浜大会は、女子で大塚沙央美 (トヨタ車社) が2位、菊田日出子 (チームプレイブ) が3位に入った。

優勝は女子がサラ・クロウリー (オーストラリア)、男子がジョームス・シーア (オーストラリア)。主な結果は下記の通り。

エリート女子
 1位 サラ・クロウリー (オーストラリア) / 2:10:12
 2位 大塚 沙央美 (トヨタ車社) / 2:13:04
 3位 菊田 日出子 (チームプレイブ) / 2:14:18
 4位 藤本 真 (東京ベルデ) / 2:14:22
 5位 高瀬 雅樹 (チームプレイブ) / 2:15:03
 6位 中西 千恵 (トーンパートナーズ・チームケンズ) / 2:20:03
 9位 藤本 寛樹 (日本食料) / 2:20:51

エリート男子
 1位 ジョームス・シーア (オーストラリア) / 1:53:48
 2位 ジョシュア・メイダー (オーストラリア) / 1:54:29
 3位 ジョシュア・アムバーガー (オーストラリア) / 1:54:32
 4位 高瀬 雅樹 (チームコラチャク) / 1:54:55
 9位 杉本 寛樹 (チームプレイブ) / 1:55:09
 9位 村本 健二 (日本食料) / 1:57:44
 10位 菊田 日出子 (チームプレイブ) / 1:58:00

<この記事へのお問い合わせ> (日)日本トライアスロン連合JTULI 事務局 TEL03-5469-5401 (月)
 広報担当: 090-3204-3126/090-1452-0828

※発行: (日) 日本トライアスロン連合
 ※ホームページURL: <http://www.jtu.or.jp/>
 ※このメールの配信を希望しない方は、またはご意見、ご要望は、
InfoRec@jtu.or.jpまでお送りください。
 ※本メールニュースの全文または一部の文章をホームページ、ブログ等に転載することを禁じます。

■7月6日(日)配信「七ヶ浜大会結果速報」

JTUメールニュース#231 (七ヶ浜レース速報) .txt
 発行人: JTUメールニュース [C] © 015@nifty.com
 送信日時: 2008年7月6日 日曜日 18:13
 宛先: "Undisclosed-Recipient" <nifty.com>
 件名: JTUメールニュース#231 (七ヶ浜レース速報)

2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回七ヶ浜大会速報

女子で大塚沙央美 (トヨタ車社) が2位

優勝は男女ともオーストラリア。女子サラ・クロウリー、男子ジョームス・シーア

7月6日 (日)、宮城県七ヶ浜町漁港漁民漁業団体の特別コースで、2008NTTトライアスロンジャパンカップ第6回、2008NTTトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会が開催された。

この大会には、オーストラリアからの有力選手が多数、韓国から日本の合戦とレース参加を断念に棄権している9名が参加した。

競技距離はオリンピック・デュアスタンスの51.5km (スイム) 5km/バイク40km/ラン10km) 。

午前11時スタートの男子エリートは、スイムでジョシュア・アムバーガー (オーストラリア) がトップに出ると、この大会で優勝経験のある平野司 (NTT東日本・NTT西日本) がすぐ後ろについた。

バイクでは、アムバーガー、ジョームス・シーア、ジョシュア・メイダーのオーストラリア勢とヘオ・ミンホ (韓国) の4名が第1集団を形成。集団に落ちるとの意を固く。

第2集団には、高瀬雅樹 (チームコラチャク)、杉本寛樹 (チームプレイブ)、村本健二 (日本食料) にオーストラリアからの2名を含め7名が入った。

ランに入る。シーア、メイダー、アムバーガーの3名が先頭を走っていた。それを追う日本選手は高瀬雅樹が、ラン序盤で20秒ほど遅れながら、中盤で差が縮まる。1時間53分48秒でシーアが優勝した。2位は、メイダー、3位はアムバーガー。高瀬は、惜しくとどかず、4位となった。

午後12時10分スタートのエリート女子は、中西千恵 (トーンパートナーズ・チームケンズ) がスイムをトップフィニッシュ。続くのは、シン・ミンギョン、キム・ヒョウの韓国勢。すぐ後ろには高瀬雅樹 (東京ベルデ) がつた。

バイクでは、高瀬雅樹、シン・ミンギョンとキム・ヒョウが第1集団となり、七ヶ浜2週目を迎える大塚沙央美 (トヨタ車社) と菊田日出子 (チームプレイブ)、藤本真 (東京ベルデ) が第2集団になったが、バイク最終でこれら2つの集団が互いの集団とつながる。

ランでは、大塚が優勢を維持して高瀬を抜く。菊田が後を追う。しかし、スイムで出遅れ、バイクを有利に走らず、ランにかけたサラ・クロウリー (オーストラリア) がただ一人37分台のラップをたたき出し、大塚を抜き去って2時間10分12秒のタイムで優勝した。

2位には、ランで抜かれた大塚が入り、3位は菊田が入った。

このレースの情報は「web JTU Magazine」フォトギャラリーでご覧いただけます。

<選手コメント>
 ○ジョームス・シーア (オーストラリア)
 素晴らしいレースだったけど、あまり気温が上がらなかったのが幸いです。バイクとランの序盤でオーストラ

■7月6日(日)配信「七ヶ浜大会レース速報」

JTUメールニュース#232 (最新ランキング情報) .txt
 発行人: JTUメールニュース [C] © 015@nifty.com
 送信日時: 2008年7月8日 火曜日 16:21
 宛先: "Undisclosed-Recipient" <nifty.com>
 件名: JTUメールニュース#232 (最新ランキング情報)

最新ランキング情報 (七ヶ浜大会終了時点)

7月6日 (日) に開催された2008NTTジャパンカップ第6回、ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会終了時点での最新ランキング (NTTジャパンカップ) をお知らせします。

また、情報については下記URLをご覧ください。
<http://www.jtu.or.jp/ranking/2008/japancup/ranking.html>

2008NTTトライアスロンジャパンカップランキング (7/6七ヶ浜大会終了時点)
 ※ 〇 内は前大会終了時点での順位

<女子>
 1 (1) 中西千恵 / 310pt
 2 (2) 高瀬雅樹 / 264pt
 3 (3) 高瀬雅樹 / 260pt
 4 (4) 中西千恵 / 232pt
 5 (7) 藤本真 / 214pt
 6 (12) 大塚沙央美 / 207pt
 7 (10) 菊田日出子 / 206pt
 8 (8) 高瀬雅樹 / 199pt
 9 (5) 高瀬雅樹 / 176pt
 10 (6) 村本健二 / 137pt

<男子>
 1 (3) 高瀬雅樹 / 373pt
 2 (1) 日本食料 / 315pt
 3 (2) 高瀬雅樹 / 273pt
 4 (7) 村本健二 / 230pt
 5 (5) 平松雅也 / 229pt
 6 (1) 杉本寛樹 / 205pt
 7 (4) 山本洋一 / 180pt
 8 (13) 小野真行 / 143pt
 9 (8) 山本真 / 142pt
 10 (8) 菊田日出子 / 130pt

<この記事へのお問い合わせ> (日)日本トライアスロン連合JTULI 事務局

■7月8日(火)配信「ランキング情報(七ヶ浜大会後)」



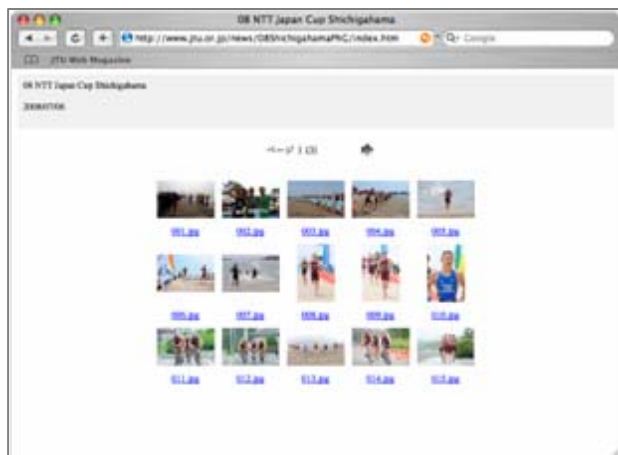
Web

Web展開の一例



■七ヶ浜大会公式ホームページ

<http://triathlon-7.main.jp/>



■七ヶ浜大会フォトギャラリー

<http://www.jtu.or.jp/news/08ShichigahamaPhG/>



■JTU Web Magazine内 七ヶ浜大会情報ページ

<http://www.jtu.or.jp/race/Japancup/2008/shichigahama/>

ツール

選手への配布物



■ 選手への配布物

Amino-Valueロゴ入りビニールバッグ、大会公式パンフレット、大会公式リーフレット、スタートリスト、選手への案内資料各種、JTU Magazine、フリーマガジン「Three」、スポンサーPRツール各種 他

ツール

大会公式パンフレット



■大会公式パンフレット(表紙)



■大会公式パンフレット(表紙・裏表紙)



■大会公式パンフレット表紙



■大会公式パンフレット・JTUオフィシャルスポンサー&パートナー広告掲載ページ

新聞記事

掲載記事の一例②

2008.07.06 陸奥新報
「きょうのスポーツ」

2008.07.06 日本経済新聞
「きょうのスポーツ」

2008.07.06 中日スポーツ
「きょうのスポーツ」

2008.07.06 大阪日日新聞
「きょうのスポーツ」

2008.07.06 西日本スポーツ
「きょうのスポーツ」



新聞記事

掲載記事の一例②



<p>2008.07.07 日刊スポーツ 「ITUコンチネンタル杯七ヶ浜大会結果」</p>	<p>2008.07.07 中日新聞 「七ヶ浜大会結果」</p>	<p>2008.07.07 河北新報 「七ヶ浜大会結果」</p>
<p>2008.07.07 河北新報 「高橋優勝 みやぎ国際トライアスロン」</p>	<p>2008.07.07 福島民報 「菊池3位」</p>	<p>2008.07.08 岩手日報 「七ヶ浜大会県勢記録」</p>
<p>2008.07.09 愛媛新聞 「七ヶ浜大会・本県勢の成績」</p>		

大会データ

出場選手数: **総出場選手数 229名+15チーム**
エリート男子 27名 / エリート女子 11名
エイジグループ 124名 / 東北学生選手権 67名 / 駅伝15チーム

観戦客数: **30,000名**
※大会メイン会場および沿道含む

新聞掲載: 大会予告(大会情報、きょう・明日のスポーツ欄など)
日本経済新聞、読売新聞、産経新聞、スポーツニッポン、熊本日日新聞 他

大会結果
朝日新聞、日刊スポーツ、西日本スポーツ、長野日報、大分合同新聞、
福島民報、福島民友、愛媛新聞、熊本日日新聞 他

天候: **晴れ** 気温21.6℃、風速5.0m/sec南東、水温21.5℃ ※9時現在



御礼



本大会を支えていただいた、たくさんのボランティアとスポンサー、出場選手の皆さん、そしてトライアスロンファンの皆さま他 多くの方々のご協力に、心から感謝いたします。

2008年7月6日
社団法人日本トライアスロン連合